

ドイツ自動車産業における トランスフォーメーションと継続訓練

プログラム

14:00 開会

14:10 - 15:10 報告（逐次通訳）

ゲアハルト・ボッシュ（デュースブルグ＝エッセン大学

社会学部 教授／労働・職業資格研究所（IAQ）上級教授）

「ドイツ自動車産業における

トランスフォーメーションと継続訓練」

15:10 - 15:30 報告

大重光太郎（獨協大学外国語学部教授）

「就業者の職業継続訓練における国家の役割

— ドイツと日本の比較」

15:30 - 15:50 コメント 岩佐卓也（専修大学経済学部教授）

休憩

16:00 - 16:55 討論と質疑

17:00 閉会

ドイツ自動車
産業

トランス
フォーメー
ション

継続訓練

日時：2025年 3月14日（金） 14時～17時

Zoom参加可能

デジタル化や脱炭素化を柱として経済構造・産業構造が急速かつ大きく変化し、就業者の継続的スキル向上が求められている。少子高齢化による人不足もスキル向上の必要性を高めている。ドイツでは2010年代半ばから継続職業訓練が国の重要政策として位置づけられ、2019年には「国家継続訓練戦略」が作られ、政労使のアクターにより様々な取り組みがなされてきた。では産業構造の大きな転換の中でドイツでは就業者に対してどのような仕組みで継続訓練が行われているのだろうか。今回は構造転換を大きく迫られているドイツの自動車産業を取り上げ、企業における継続訓練、雇用維持の取り組み、政府や公共機関による支援、労使パートナーの役割について、労働市場研究の一人者であるゲアハルト・ボッシュ教授の講演をもとに、国際比較を交えながら議論を行う。



会場：獨協大学 天野貞祐記念館 A-408

主催：大重光太郎（獨協大学国際共同研究助成「生涯にわたる継続職業訓練政策の日独比較 — 公共性の射程とネットワークに着目して」）

共催：獨協大学外国語学部ドイツ語学科、Sapientia Forum

連絡先：大重光太郎 kooshige@dokkyo.ac.jp

お申込みは

QRコードから

3月12日18時〆切

